

第 3 回パリ協定長期戦略懇談会への意見について

富山市長 森 雅志

11月19日開催のパリ協定長期戦略懇談会には、先に決まっておりました海外出張のため、出席することができません。

第3回の主要テーマの一つが「地域」とのことですので、懇談会における議論にあたり、地域を代表する唯一の立場として、次のとおり意見を提出いたします。

意見 1：持続可能な社会を目指す「地域循環共生圏」の形成の重要性・必要性

- ・地域には、森里川海といった恵まれた自然環境があり、その中に存する森林バイオマスや包蔵水力、地熱、地中熱などの豊富な資源を最大限に活用することが、日本の成長にもつながる。
- ・また、日本には「地域」とともに発展してきた産業があり、これこそが世界に誇れる強みである。
- ・将来的な脱炭素社会の実現にあたっては、このような成長の現場である「地域」の視点から考えることも重要である。
- ・国が、第5次環境基本計画で掲げた「地域循環共生圏」は、正に「地域」から見た将来像の一つであり、長期戦略でもその考え方を取り入れるべきである。

意見 2：クオリティ・オブ・ライフ（QOL）の重要性

- ・日本の持続可能な成長のためにも、一人ひとりの生活基盤がしっかりとしていることが前提となる。
- ・地域は、人口減少が懸念される中、それぞれの地域が抱える多様な課題の解決に向け、公共交通、健康・医療、子育て・教育、レジリエンスなどの地域に必要な生活基盤を充実させることが必要である。
- ・富山市でも、「公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり」を基本方針に、高齢者にも優しい低炭素社会の実現を目指してきた。
- ・成長戦略として長期戦略を策定するにあたっては、環境、経済に加え、社会を統合的に向上させるSDGsの考え方を基本に、一人ひとりのクオリティ・オブ・ライフ（QOL）の向上を目指すべきである。

意見 3：日本（地域）の将来像を描き、共有することの重要性・必要性

- ・富山市では、地元の民間企業が持っている小水力発電システムなどの再生可能エネルギー関連技術やノウハウの積極的な国際展開を通じて、地域での雇用拡大による地域経済の発展や国際的な低炭素社会の実現にも貢献している。

- ・こうした民間企業の国際展開を通じた活性化は重要であり、企業が国際展開するためにも、地域で技術を磨き、知見やノウハウを蓄積することが前提となる。
- ・東南アジアに限らず、途上国の中にも日本の技術に対する期待は強いものがあると感じており、今後の成長産業としても大いに期待できる。
- ・企業が、地域でイノベーションを創出し、また、生活基盤の持続的充実を図るためには、ビジネスの観点のみならず、省庁や自治体、市民が協働し、課題の解決に向けて取り組むことが重要である。
- ・そのためにも、日本や地域の将来像を描き、それを見据えたバックキャストイングの手法を活用することが重要であり、長期戦略においては、国内の地域の将来像をそれぞれの立場で共有することが必要である。

意見4：リサイクル経済の実現

- ・地域の将来像の一つとして、リサイクル経済の実現を挙げる。
- ・富山市で取り組んでいる「脱・埋立て」による循環型のまちづくりは、バイオガス発電など温暖化対策にも貢献し、エコタウン産業団地は地域経済にも貢献している。
- ・資源制約が国際的に高まる中で、リサイクルを高度に発展させた経済・社会の実現は、日本や地域のこれまでの強みを活かせるものである。成長戦略としての長期戦略を考える上でも、地域におけるリサイクル経済の観点も考慮すべきである。

意見5：地域への再エネ普及と汎用化イノベーションの重要性

- ・地域や家庭などにおいて、再生可能エネルギーをより一層広めていくためには、蓄電池の設置が必要不可欠である。しかしながら、導入コストが高いため、普及が進まない現状がある。再エネ関連のコスト低減も重要なイノベーションである。
- ・中山間地域においては、ガソリンスタンドが著しく減少しており、将来的になくなることが想定されるため、EV社会化が必要である。
- ・地方は、EV社会化が進展しないと農業も成立しなくなるため、EV車両やEVトラクター、農機具など、汎用性の高い価格で導入しやすい環境を整備していくことが必要である。
- ・また、人口減少や少子高齢化に対応するため、農業機械の自動運転化や、冬期間の積雪、凍結対策として、中山間地域でのドローンを活用した物流面でのイノベーションも必要となる。
- ・次世代型の高性能なものを求めるイノベーションを進めていくことも社会としては必要であるが、既存の優れた技術を横展開し、普及していくためのイノベーションが大切である。
- ・地域としては、生活者の現場において真に必要とするものを汎用化し、低価格で導入できるようなイノベーションを産業界に期待したい。